



いわて八幡平白銀国体について



1 スキー競技会の概要

開催時期	令和5（2023）年2月17日（金）～20日（月）
大会名称	特別国民体育大会冬季大会スキー競技会
大会愛称	いわて八幡平白銀国体
スローガン	白銀に 映えるみんなの 夢・未来
会 期	競技会4日間（初日に開始式）
会 場	八幡平市（矢神飛躍台、田山クロスカントリーコース、安比高原スキー場）
実施競技	ジャイアントスラローム、スペシャルジャンプ、クロスカントリー、コンパインド
参加資格	開催年度において中学3年生以上の選手
参加人員	選手・監督等：1,817人

【国民体育大会本大会及び冬季大会の開催状況】

大会		本大会	冬季大会		
年	回		スキー	スケート	アイスホッケー
令和2（2020）年	75	鹿児島（延期）	富山	青森	
令和3（2021）年	76	三重（中止）	秋田（中止）	岐阜・愛知	愛知
令和4（2022）年	77	栃木	秋田	栃木	
令和5（2023）年	特別	鹿児島	岩手	青森	

2 本県の開催状況（平成10年以降）

回 （開催年）	冬季国体		本国体
	スキー競技	スケート・アイスホッケー競技	
第53回 （平成10年）	岩手県（安代町）	岩手県 （盛岡市、石鳥谷町、二戸市）	神奈川県
第60回 （平成17年）	岩手県（安代町）	山梨県、東京都	岡山県
第71回 （平成28年）	岩手県（八幡平市）	岩手県 （盛岡市、花巻市、二戸市）	岩手県
特別 （令和5年）	岩手県（八幡平市）	青森県	鹿児島県

※平成28年希望郷いわて国体以来、7年ぶりの開催

3 今大会の開催実績

(1) 開始式

ア 日 時 令和5年2月17日（金） 14：00～16：14

イ 会 場 八幡平市総合運動公園体育館

ウ 出席者数 1,051名

〔主な出席者〕日本スポーツ協会国体委員長、スポーツ庁長官、全日本スキー連盟会長 他

エ 内 容 歓迎アトラクション（動画上映等）、選手団紹介、黙祷、競技会開始宣言（知事） 他

〔選出代表宣誓〕岩手県選手団主将 岡森 篤（ジャイアントスラローム競技 成年男子C）

(2) 競技会

ア 日 程 令和5年2月18日（土）～2月20日（月）

イ 会 場 安比高原スキー場（ジャイアントスラローム競技）、

田山クロスカントリーコース（クロスカントリー競技）、矢神飛躍台（ジャンプ競技）

ウ 参加選手 男子875名、女子380名

(3) 表彰式

ア 日 時 令和5年2月20日（月） 15：00～16：38

イ 会 場 八幡平市総合運動公園体育館

ウ 出席者数 143名

〔主な出席者〕全日本スキー連盟理事、岩手県スキー連盟会長、八重樫副知事 他

エ 内 容 成績発表、表彰状・トロフィー授与、終了宣言（副知事） 他

オ 成 績 天皇杯 1位 北海道 2位 長野県 3位 秋田県 （8位 岩手県）

皇后杯 1位 長野県 2位 北海道 3位 秋田県 （12位 岩手県）

(4) 主なトピック

ア 機 運 醸 成 除幕セレモニー（R4.9.28）、開催100日前イベント（R4.11.3）

開催2ヶ月前イベント（R4.12.16）

イ 大 会 従 事 者 役員（延べ）1,945名、ボランティア（延べ）54名

ウ 公 式 L I N E 登 録 者 1,435名（大会概要、観光・物産、競技結果等を発信）

エ 復 興 支 援 へ の 感 謝 各会場に復興ブースを設営、式典映像 等

オ 本 県 の 魅 力 発 信 オリジナル弁当箱、リンドウ（八幡平市の花）をPRするビクターブーケ・

フォトスポット、おもてなし広場でのおふるまい（豚汁、甘酒他） など

